

# 平成23年度 学校経営方針

## 1. 学校教育目標

やさしく かしこく たくましい子の育成

御幸の子の生活する 学舎（まなびや）と 心の宿（やど）から

やさしく かしこく たくましく みゆきのやかた 御幸の館 と称します

### やさしい子（徳）～豊かな人間性～

- 自然を愛し、生命を尊び、美しいものを素直に美しいと感じる子
- 友だちと仲よくし、助け合おうとする気持ちや態度を大切にする子
- 相手の気持ちを尊重した話し方、聞き方ができ、他の人の心の痛みを感じ取れる子
- 困っている人の気持ちを理解し、いたわることができる子

### かしこい子（知）～確かな学力～

- お互いの思いや考えを素直に話し合い、学びあえる子
- 自分の感情を抑え、注意深く判断ができる子
- 人との心の通い合いを大切にし、他から進んで学ぼうとする子
- 新しいこと未知のことに進んで取り組み、新たな発見の喜びや驚きを感じ取れる子
- あいさつや日常に必要なきまりや習慣を身に付け、相手や場面に応じた適切な対応ができる子

### たくましい子（体）～健康と体力～

- 進んで体を動かし、健康や安全について考えることができる子
- よいと思うことに進んで取り組み 最後までやりとげようとする子
- 自分の考えや意見を適切に伝えられ、自分のことは自分でできる子

## 2. 御幸のめざす教職員像

- ・互いの個性や特性を認め合い、それぞれの力を発揮し合う教職員
- ・人権に対する正しい理解と認識を基に、心の通い合う人間関係を培う教職員
- ・温かく、やる気に満ちて生き生きとした教職員
- ・研究心をもって実践し、互いに研修しあい、成果を共有する教職員

## 3. 学校経営の目標

- ・お互いが尊重しあい 一人一人が輝く学校
- ・確かな学力をつける学校
- ・安全・安心な学校
- ・保護者や地域から信頼される開かれた学校

#### 4. 中期経営目標（3～5年の目標）

- 「豊かな心」の育成（やさしく）
  - ・友だちと仲良くし、助け合おうとする気持ちや態度を大切にする子の育成
- 「確かな学び」の推進（かしこく）
  - ・お互いの思いや考えを素直に話し合い、学びあえる子の育成
- 「健やかな体」の育成と「子どもの安全」の推進（たくましく）
  - ・進んで体を動かし、健康や安全について考えることができる子の育成
- 開かれた学校づくり
  - ・保護者や地域の人々との連携

#### 5. 短期経営目標（今年度の重点目標）

- 「豊かな心」の育成
  - ①特別支援教育の体制充実ときめ細やかな支援の推進
  - ②人権尊重教育を基盤とした学年・学級経営の充実
  - ③共生＊共育プログラムの活用と人間関係づくり
- 「確かな学び」の推進
  - ①学習の基礎基本の確実な定着をめざす授業の実践
  - ②校内研究（算数）の推進
  - ③指導要領に対応したカリキュラム及び評価規準の作成
- 「健やかな体」の育成と「子どもの安全」の推進
  - ①安心・安全な学校生活のための教育環境の整備と充実
  - ②防犯・防災・交通安全対策の充実
  - ③食育の充実
- 開かれた学校づくり
  - ①保護者・地域との相互理解を深める開かれた学校づくりの展開
  - ②学校評価の充実
  - ③小中連携の推進
  - ④幼・保との交流

#### 6. 重点にかかる具体的な取り組み

##### ○「豊かな心」の育成

##### <特別支援教育>

（1）特別支援教育の体制をさらに充実させ、個に応じた、きめ細やかな支援を行う。

- ①特別支援校内支援委員会を中心に、学級生活の適応や人権、学力などさまざまな課題をもつ子どもへの支援を適切に行うように努める。
- ②個別の支援が必要な子どもの早期発見・早期指導に心がける。
- ③コーディネーターを中心にした話し合いで十分に検討し、保護者と相談しながら適切な手だてがとれるように努力する。
- ④通級指導教室（言語・情緒）と連携し、支援やアドバイスをうける。
- ⑤外部の相談機関を活用し、専門的な助言をうけ指導にいかす。
- ⑥サポートシートや支援シート等を作成し支援が継続できるように配慮する。

- (2) 個別支援学級は、所属の学年やクラスと積極的に交流活動をすすめて、よりよい育ちの支援ができるように努める。
- (3) 個別支援が必要な児童については個別指導計画をたて計画的に支援を進める。

#### <共生\*共育プログラム>

- (1) 共生\*共育プログラムの研修を行い、学級活動等に積極的に生かす。
- (2) 共生\*共育プログラムに基づき、自己肯定感を高めるような人間関係づくりに取り組む。

#### <児童指導>

- (1) 「みゆきのやくそく」を見直し、基本的な生活習慣の改善、規範意識の向上を図る。
  - ※ 職員・保護者・児童が約束については、共通理解できるようにする。
  - ※ 「みゆきのやくそく」を御幸小のスタンダードと位置づけ、職員の確認事項と併せて検討し、共通理解したことについては、教職員がいつでも、同じスタンスで児童に接するようにする。
  - ※ 「みゆきのやくそく」の見直しには、PTA役員などにも意見を聞き保護者にも主体性をもたせる。
- (2) 規範意識の乱れや問題行動に早期に対応し、全職員で改善に向けて努力する。
- (3) 人権感覚に基づき子どもへの対応し、職員同士で日常的な振り返りを行う。  
(例 ヒヤリハットの集約・まとめ・報告)

#### <心の教育の推進>

- ・心のノートや道徳副読本の活用を図り、道徳教育を充実するように努めます。
- ・さまざまな教育活動を通して、人権教育を推進します。
- ・豊かな心を育てるためのふれあい活動を大切にします。  
縦割り班活動 ふれあいフェスティバル 親子交流会  
子ども会議 学習発表会など 地域老人会との会食会

#### ○「確かな学び」の推進

- (1) オープンスペースの学年ゾーン的な構造から、教育活動の基本は、学年単位を主軸とし、学年主任を中心に、各学級担任が十分な話し合いを行い、協働的に運営する。
- (2) 校内研究「かかわりあいながら、考えを広めたり深めたりする算数学習」3年目となる。研究の一層の充実を図る。
- (3) 教科領域の研修には積極的に参加し、各教科部会の活動を充実させ、指導要領に対応したカリキュラムと評価規準等の作成を進める。
- (4) 朝の読書タイム週2回を継続するとともに、読み聞かせ、感想交流、学年合同の取り組みなどの多様な読書活動に取り組む。  
保護者読み聞かせグループと連携し効率的な読書活動を推進する。
- (5) 語り「おはなしかご」や読み聞かせ活動等を通して、児童の言語活動への関心を一層高める。
- (6) 高学年は古典芸能の体験学習を行う。
- (7) 5・6年では理科支援員を活用し、理科教育の充実を図る。
- (8) きらきらタイムの充実を図り、子どもたちの体力の向上をめざします。
- (9) 音楽活動を日常化させ、歌声の響く学校をめざす。  
(音楽朝会は各学年が1回ずつ担当する。また、音楽集会を行い、保護者に向けて発表する。)
- (10) 子どもたちの実感を伴った理解のために、積極的に体験的な活動を行ったり、外部講師の招請を行ったりする。

## ○「健やかな体」「子どもの安全」の推進

### <安全管理>

学校、保護者、地域と連携して防犯・防災・交通安全対策に積極的に取り組む。

- ①地域見守りボランティアとのさらなる連携
- ②くらし安全指導員による防犯教室（全学年）と防犯教育（4年）の実施
- ③地域安全指導員の配置の要請（野崎スーパーバス停前）
- ④通学路 在校生分布マップの作成、学区内危険箇所の調査とこども110番の配置（PTA）
- ⑤学校安全ハンドブックの見直し・修正
- ⑥交通安全教室 避難訓練 引き渡し訓練 集団下校訓練等 各種訓練の実施
- ⑦個人情報の管理や施設設備の安全管理について研修や定期的な点検
- ⑧安全会議の定期的な開催（PTA運営委員会、地域ボランティア交流会）
- ⑨登校時の教職員による正門での見守り活動 オートロックの活用
- ⑩クローズ型によるきめ細かい情報の発信
- ⑪スクールガードリーダー、スクールサポーターとの連携の強化

### <保健管理>

- (1) 手洗い・うがいなど基本的な病気予防についての習慣化を進める。
- (2) 基本的な生活習慣の徹底を図る。
- (3) キラキラタイム等の充実を図り、体力の向上を図る。
- (4) 養護教諭、学校栄養職員と連携しながら健康教育や食育を授業に取り入れる。
- (5) 健康集会などを通して健康への意識を高める。

### <教育環境整備>

- (1) タイルカーペット対応の清掃方法などを共通理解し、清潔な教育環境を整えるように清掃のマニュアルを整える。
- (2) 校舎をできるだけ、きれいに保つための努力を児童、教職員、保護者ととともにしていく。

## ○「開かれた学校」づくり

### <保護者・地域との連携>

- (1) 保護者・地域との協力連携をさらに深め、子どもたちのためのより良い教育活動を展開していく。
- (2) 保護者や地域の教育力を生かすために、積極的にゲストティーチャーを招いたり、ボランティアを要請したりする。
- (3) ホームページを充実し、本校の教育活動を保護者・地域に広く知らせるようにする。学校だよりを地域にも配布し、学校の様子や予定を地域に知らせる。

### <学校評価>

- (1) 各行事毎に保護者アンケートを行い、次回に生かすように努める。
- (2) 本年度の重点目標に即した自己評価・保護者・児童アンケートを行い、教育活動の改善にいかす。
- (3) 評価結果についてはホームページに公開する。

### <異校種交流>

- (1) 職員ばかりでなく、子どもたちについても、幼・保・小中連携していけるように積極的に取り組む。

平成23年度 川崎市立御幸小学校 学校経営計画

